

## 2020年度期 第2回理事会 議事録

日時：2020年12月15日（火） 18：00～19時45分

開催方法：オンライン

出席理事・監事：樗木・石原・笠原・加藤・佐藤・関根・富成・南津・山内（敬称略）

### 審議事項

#### 審議事項 第1号議案：前回の議事録の確認

第1回の議事録は承認された。

#### 審議事項 第2号議案：会員の異動：

川越栄子会員の退会が承認された。

#### 審議事項 第3号議案：2020年度の各予定について

##### 3-1 年次大会の開催方法の検討：

笠原理事を中心に東海大学（湘南キャンパス）で、ハイブリッドかオンライン開催を検討することが承認された。開催形式は継続審議として次回の3月の理事会で決定することとなった。それまでに笠原理事は大会運営委員会を組んでおくことも付言された。

##### 3-2 夏季セミナーの開催方法の検討

- 2020年度期の夏季セミナーは、オンライン形式で開催し、講演と（できれば）ワークショップを開催することが承認された。
- 夏季セミナーのテーマは、理事から機械翻訳 / 教育関連 / 文学などの学際性について / 2020年度に予定していた談話分析（アイヌの話などの予定はしていたが、具体的なことを決める前にコロナで中止となった） / 英語教育 / メディアっぽいほうがいいのではないか？ / 教育関連の方が人が集まりやすい / マスコミ関連；海外メディアのデジタル展開？ / SNSと報道の講演やワークショップなどはどうか？ / ICTのノウハウ等が挙げられた。この提案を参照にして、各地区例会との合同開催なども含めて継続審議することとなった。

#### 審議事項 第4号議案：地区例会と分科会への予算の振り分け

- 2020年度期の地区例会は基本的に共同で開催することが承認された。そこで、従来では3万円ずつ配分していた地区例会の予算は、今年度は1万を配分して、残りの6万円は共同予算とすることが承認された。
- 各分科会には従前どおり2万円ずつ予算を配分することとなった。

#### 審議事項 第5号議案：学会誌のオンライン化についての検討

- 会員数の減少による会費収入の減少を踏まえて、会員から学会誌のウェブジャーナル化を提案する意見が出たために検討した。会費収入の減少は15万円～25万円の幅で推移し、学会誌の発行費用は例年20～25万の幅で推移している。このことを踏まえ、現段階では会費収入の減少と学会誌のウェブジャーナル化はいったん切り離して行うべきではないかとの意見でまとまり、学会誌は紙媒

体で発行することが承認された。

- 次回の3月の理事会で会員獲得策について継続審議を行うこととなった。

### 【報告事項】

#### 報告事項 第1号議案：各担当業務内容確認

各担当の引き継ぎ状況の確認が行われた。

- 学会誌については、年末から行うことが報告された。
- 経理は12/5に対面で引き継ぐことが予定されていたが、コロナ感染拡大の状況を鑑みて先送りとなっている。実印が必要な業務は稲永前理事にしばらく行ってもらうことが報告された。
- 新理事会の法人登記について、12月25日までに提出したい旨が報告された。

次回の理事会は3月末を目処に調整する。